様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 8 年 6 月 18 日

群馬県知事　　殿

提出者　　〒 108-8503
住 所　東京都港区芝浦3-1-1　田町ステーションタワーN
氏 名　ｻﾝﾄﾘｰﾋﾞﾊﾞﾚｯｼﾞ&ﾌｰﾄﾞ株式会社
SBFジャパン　執行役員　戦略企画本部長　川村　崇
電話番号　03-5579-1000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

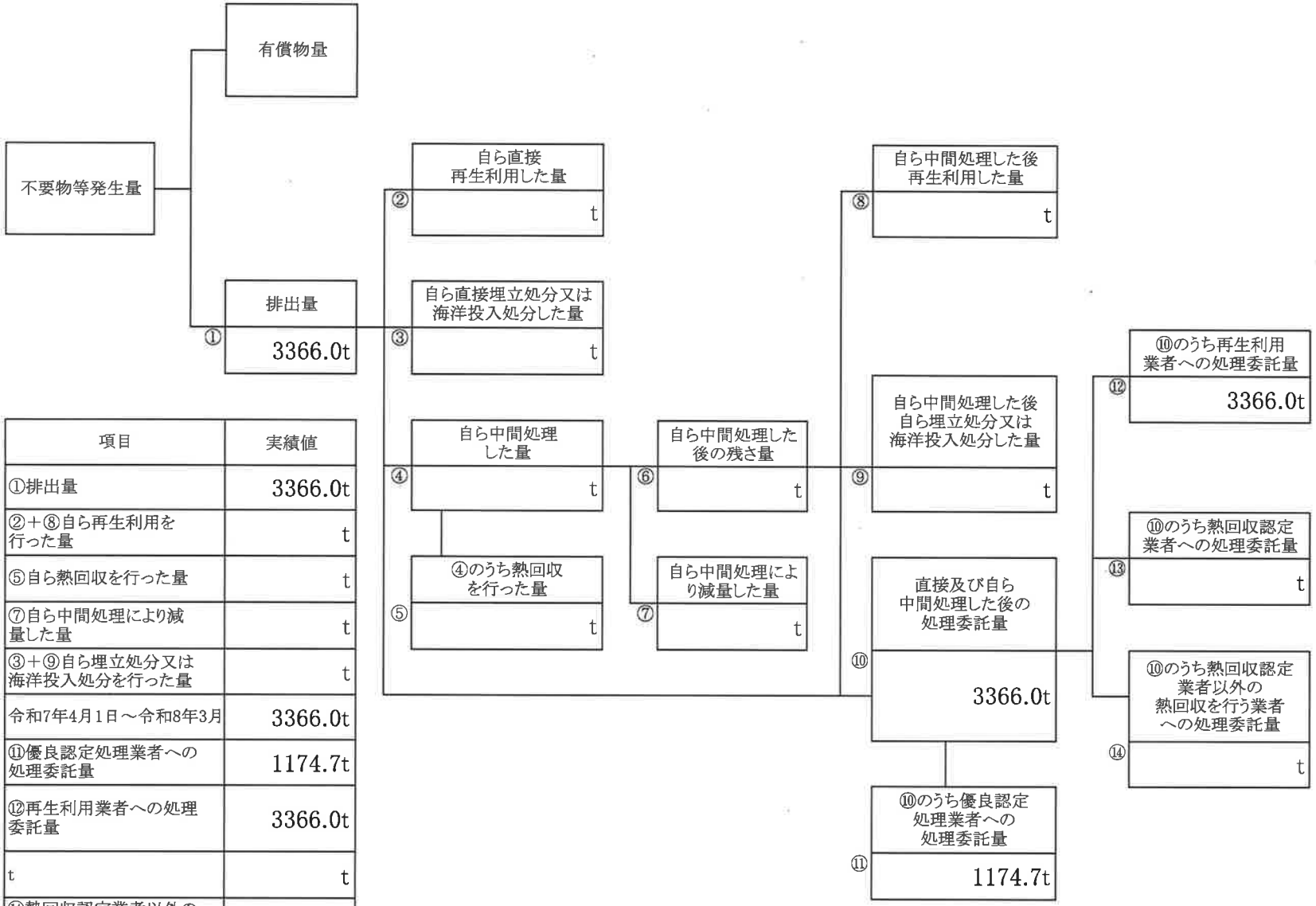
事業場の名称	ｻﾝﾄﾘｰﾋﾞﾊﾞﾚｯｼﾞ&ﾌｰﾄﾞ(株)自動販売機指定部品センター (株)ユニオントラスト　整備事業部 ※社名変更：～20260331：ｻﾝﾄﾘｰ食品ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ㈱ 20260401～：ｻﾝﾄﾘｰﾋﾞﾊﾞﾚｯｼﾞ&ﾌｰﾄﾞ㈱
事業場の所在地	群馬県伊勢崎市堀口町92－1
事業の種類	90　機械等修理業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2957.1t	全処理委託量	2957.1t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1193.2t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2957.1t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	3366.0t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
令和7年4月1日～令和8年3月	3366.0t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1174.7t
⑫再生利用業者への処理委託量	3366.0t
t	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

廃棄

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) （　　氏　名　ｻﾝﾄﾘｰﾋﾞﾊﾞﾚｯｼﾞ&ﾌｰﾄﾞ株式会社

(3) ③欄　　SBFジャパン　執行役員　戦略企画本部長　川村　崇

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

廃(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) 令和7年4月1日～令和8年3月31日
第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) t
第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

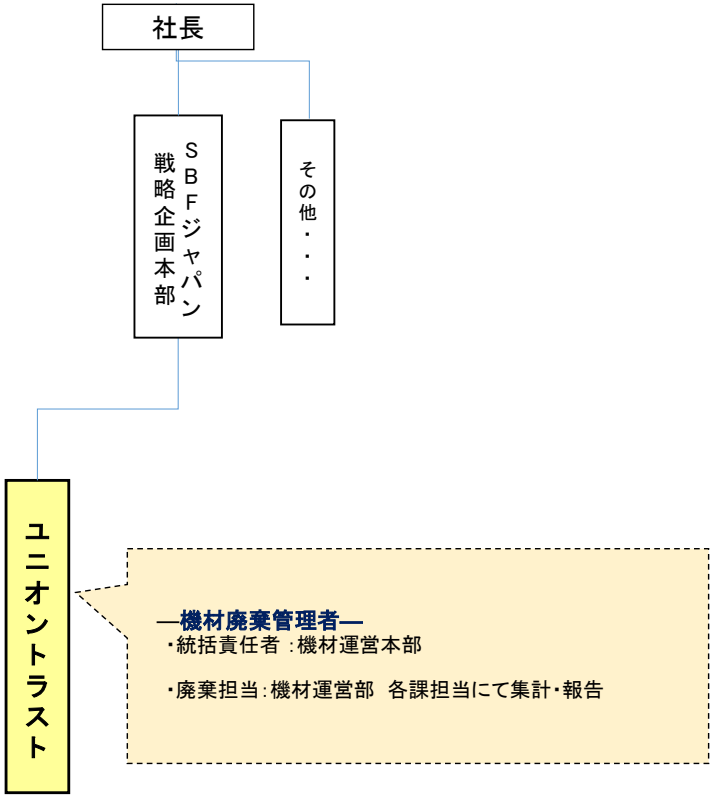
6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

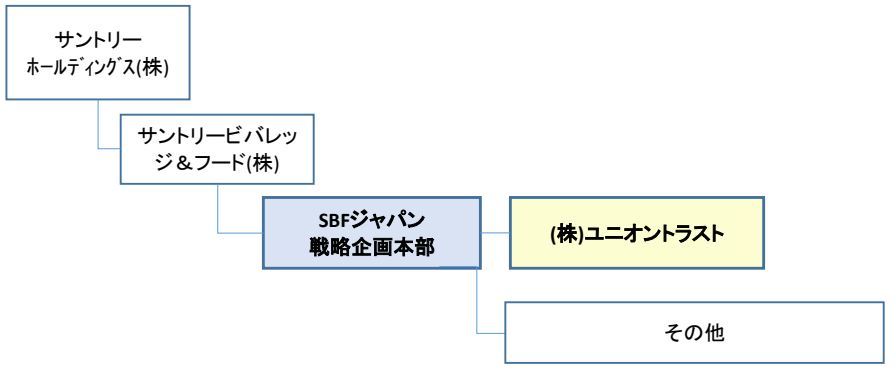
2026.04.01現在

旧サントリー食品インターナショナル(株) ⇒2026.04.01～サントリービバレッジ＆フード㈱ 管理体制図

※2016年4月1日以前はサントリーフーズ㈱に廃棄担当部署を置いて管理。
※2016年4月1日に新会社としてサントリービバレッジソリューション㈱設立(サントリーフーズ㈱より分社)
※2019年4月1日に事業戦略部を経営本部と事業推進本部に分化
※2020年4月1日に事業基盤ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ本部を新設、従来からの廃棄担当部署を引継ぐ
※2021年4月1日に事業基盤ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ本部を(株)サンベンドへ組織移管(担当業務もそっくり移管)
※2022年1月1日にサントリービバレッジソリューション㈱をサントリー食品インターナショナル㈱に事業継承
※2026年4月1日に社名をサントリー食品インターナショナル㈱からサントリービバレッジ＆フード㈱に変更
※略称(SBF)は変わらず。



＜参考＞ 組織図概要



※その他食品関連事業会社

◇サントリーグループ環境経営(ISO)推進体制(2026年6月現在)

